

13 広島県公立高等学校入学者選抜 自己表現の内容・方法 一応用編一

令和8年度の広島県の公立高等学校入学者選抜の実施内容の一つに自己表現があります。自己表現は一次選抜と二次選抜の両方で実施されます。

自己表現は、令和5年度の入学者選抜から導入されましたが、受検生の中には、何をどのように表現したらよいのかイメージがわからないという人がいるかもしれません。

ここでは、自己表現の内容・方法について、広島県教育委員会が公開している「自己表現 試行事例（サンプル）」（令和4年10月31日 広島県教育委員会）を参考にしながら、具体的に説明していきます。

ただし、これから説明する事例は、「正解例」ではありません。評価にも関係ありません。あくまで「自分らしさ」を形にするためのヒントと考えてください。

まず、内容についてですが、自己表現で表現する内容に決まりはありません。

よく中学校の時の部活動で、自分はレギュラーでなかったから、表現できる内容がないという人がいます。本当に、補欠では自己表現の内容とならないのでしょうか？

私は、補欠として部活動に取り組んできた経験は、「目立たないけれど大切な役割を果たす力」や「悔しさを乗り越えて努力を続ける力」といった、自分の内面の成長を伝える貴重な材料になると思います。

試合に出られなくても、大きな声を出してチームの雰囲気を支えたり、記録係として責任を果たしたりした経験を言葉にまとめてことで、検査官には、「この人は自分の役割を理解し、何事にも前向きに取り組める人だ」と伝わります。

自己表現は「成果」や「結果」だけが評価されるのではありません。評価の観点である「ア 自己を認識する力」や「イ 自分の人生を選択する力」からすると、「過程」や「姿勢」も評価の観点として重要になってくるのではないかと考えられます。

補欠だからこそ見える景色や感じたことを、自分の言葉で丁寧に伝えることが、むしろ深い自己理解につながるのではないかと思います。

次に表現の方法についてですが、自己表現で表現する方法は、ガイドラインに逸脱しなければ、どのような方法でも問題ありません。

「自己表現 試行事例（サンプル）」では、実物を持ち込む（バレエシューズ、プラモデル、小説など）、タブレットを使う、実演する（ダンスの披露、ベースの演奏）などが例としてあげられています。

ここにあげられている方法以外で、準備のハードルが低く、工夫次第で深い表現ができるものに紙芝居があります。

紙芝居は、視覚的に分かりやすく、検査官に伝えたいことが伝わりやすくなるだけでなく、話す側の構成力や表現力を高める効果もあります。タブレットに比べて画面の反射や操作の手間がなく、紙ならではの温かみや手作り感が伝わることで、話し手の個性がより鮮明になります。絵を順にめくりながら話すことで、話の流れが整理され、聞き手の集中力も保ちやすくなります。

さらに、紙芝居を自作する過程そのものが、準備力や構成力の向上につながります。絵を描く、順番を考える、話す内容を整理する—これらの作業を通じて、自己理解が深まり、伝える力も磨かれます。紙芝居は単なる道具ではなく、自分の思いや考えを形にする手段として、自己表現の質を高める大きな助けになります。

例えば、先ほどの部活動での経験を芝居形式で表現すると次のようになります。

1枚目：「補欠としてのスタート」

2枚目：「仲間を支える工夫や練習への取り組み」

3枚目：「自分なりに得た達成感や気づき」

4枚目：「これから高校生活で生かしていきたいこと」

このような構成にすることで、「ア 自己を認識する力」や「イ 自分の人生を選択する力」をしっかりと表現できます。また、それぞれの場面でどのような素材（イラスト、写真など）を持ってくるかで、「ウ 表現する力」もアピールできます。

このように、紙芝居は、「自分らしさ」の魅力を引き出し、検査官に印象深く伝えるための効果的な方法の一つといえます。

<参考：こんなテーマも紙芝居にできる！>

○「将来は保育士になりたい」という夢をテーマにした事例

紙芝居の1枚目に「きっかけとなった保育園での体験」、2枚目に「子どもと関わる中で感じたやりがい」、3枚目に「保育士として目指したい姿」を描き、それぞれの場面に合わせて自分の考えや気持ちを言葉で補足することで、夢への思いを具体的に伝えることができます。このように、絵と話を組み合わせることで、聞き手の理解を助けるだけでなく、自分自身の価値観や進路選択の根拠を明確に示すことができます。

○「興味のあること」として「地域の歴史」に関心がある場合

紙芝居に地元の史跡や伝承を描きながら、それにまつわる自分の調べ学習や体験を紹介することで、単なる知識の披露ではなく、自分なりの視点や探究の姿勢を伝えることができます。こうした工夫は、「ア 自己を認識する力」に加えて、「イ 自分の人生を選択する力」にもつながり、将来どのように地域と関わっていきたいかという展望を語るきっかけにもなります。

<参考：紙芝居のつくり方>

- ①A3版の大きさのスケッチブックを用意する。(大きい方が検査官によく見えます)



スケッチブックは、100均ショップでも購入できますが、A3版のような大きなサイズは、取り扱いがなかったり、値段も110円(税込)以上したりする場合があります。大切なのは、検査官に見せることを考えて、サイズやリングの位置など、自分にとって表現しやすいものを選ぶことです。

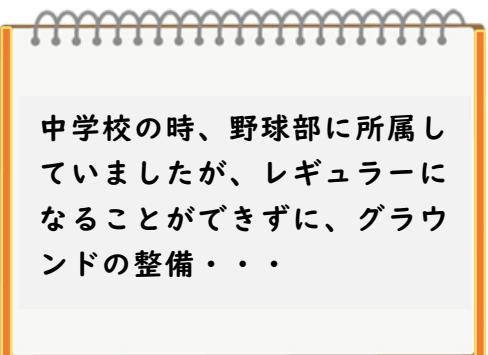
- ②イラストや写真などで構成を考える。



(出典：画像は「いらすとや」から引用)

イラストを描くには、色鉛筆、クレヨン、水彩絵の具など身近な道具がたくさんあります。また、Webなどでイメージに合ったイラストを選ぶこともできます(その場合は、出典を明記しておきましょう)。事前に、自分が活躍している場面を、友達などに写真で撮ってもらっておくとよいかもしれません。

- ③説明する文章を裏側(自分側)に書いておく。(あるいは録音した音声を流す)



話す内容を練習して覚えていても、本番では緊張してうまく思い出せないことがあります。しかし、メモを書いておけば安心です。また、終了後「しっかり話せた工夫」として、検査官に種明かしをするのもおもしろいかもしれません!話すのが苦手な人は、事前に録音した音声を流すのもよいかもしれません!

自己表現 試行事例（サンプル）

	事例 1	事例 2	事例 3	事例 4	事例 5
概要	バレエを通して学んだことについて ↓ ② バレエシューズを提示 ↓ ③ 説明（バレエを通して学んだこと、身に付いたことについて） ↓ ④ タブレット提示（2人の女性が写った画像） ↓ ⑤ 説明（好きなYouTuberについて、憧れている部分について） ↓ ⑥ 説明（高校生活で頑張りたいことについて）	将来の夢（パティシエ）について ↓ ② 動画を観て作ったことについて ↓ ② 説明（将来の夢（パティシエ）について） ↓ ③ 説明（高校を志望した理由（カフェを開くために簿記や販売士の資格を取得したい）について） ↓ ④ 説明（高校で頑張りたいことについて） ↓ ⑤ 写真を提示（自分で作ったケーキ（両親のために作ったウエディングケーキなどの写真））	ミドリムシの研究について ↓ ① ポスター（1枚目）を提示 説明（ミドリムシについて） ↓ ② ポスター（2枚目）を提示 説明（ミドリムシに興味を持ったきっかけ（企業の社長が書いた本を読んだこと）について） ↓ ③ ポスター（3枚目）を提示 説明（ミドリムシの性質、環境問題への有効性について） ↓ ④ 説明（ミドリムシをきっかけに、農学に興味を持ち、将来の目標を見つけることができたことについて） ↓ ⑤ 説明（中学校生活で印象に残ったこと（ポスターで優秀賞を取ったこと）について） ↓ ⑥ 説明（高校入学後に頑張りたいことについて）	将来の夢（証券会社で働くこと）について ↓ ① 説明（株や証券に興味を持ったきっかけ（テレビドラマを観たこと）について） ↓ ② 説明（将来の夢（証券会社で働くこと）について） ↓ ③ 説明（高校を志望した理由（大学（経済学部）に進学するため）について） ↓ ④ 説明（高校に進学するために取り組んできたことについて） ↓ ⑤ 説明（高校で頑張りたいこと（FX取引の練習、部活動と勉強の両立）について） ↓ ⑥ 説明（中学校で頑張ってきたことについて） ↓ ⑦ 説明（自分の長所、高校入学後に頑張りたいことについて）	好きな芸能人について ↓ ② 説明（学校に行くことが辛かった時に心に刺さったアイドルの言葉「生きているだけで偉いんだよ。」について） ↓ ③ 説明（アイドルグループのミュージックビデオを見てダンスを覚えたことについて） ↓ ④ ダンス（アイドルグループ）を披露
自己表現の流れ	・バレエシューズ ・タブレット	・写真	・ポスター	・なし	・音楽再生機器
持ち込み物					

	事例 6	事例 7	事例 8	事例 9	事例 10
概要	プラモデルについて ↓ ① 説明（プラモデルに対するイメージについて） ↓ ② プラモデルの部品を提示 説明（プラモデルの製作を通して身に付けた力（集中力・忍耐力）について） ↓ ③ プラモデル（飛行機）を提示 説明（プラモデルの製作を通して身に付けた力（独創力）について） ↓ ④ 説明（身に付けた力をどのように社会で生かしていくかについて） ↓ ⑤ 説明（今後のプラモデルの役割について）	これまで頑張てきたこと、将来の夢について ↓ ① 説明（中学校で吹奏楽の部活動を頑張ったことについて） ↓ ② 説明（中学校で勉強と部活動を両立するために努力したことについて） ↓ ③ 説明（高校に入学後の吹奏楽部での目標について） ↓ ④ 説明（読書が好きであること、好きな作者について） ↓ ⑤ 本（小説）を提示 説明（本の内容を紹介、これからも本を通して知識を得たいことについて） ↓ ⑥ 説明（将来の夢（獣医師）について）	空手を通して学んだこと ↓ ① 説明（これまで取り組んできたこと（サッカー、空手、体操など）について） ↓ ② 説明（中学校で体育祭実行委員を経験し学んだことについて） ↓ ③ 説明（空手を通して学んだこと（忍耐力、継続力）について） ↓ ④ 空手初段免状を提示 説明（挫折しながらも初段を取ることができ、継続することの大切さを学ぶことができたことについて） ↓ ⑤ 説明（受験勉強において継続することの大切さに気付いたことについて） ↓ ⑥ 説明（これからの生き方や行動について）	興味のあること（ピアノ・地学）について ↓ ① 説明（ピアノを習ってきたことについて） ↓ ② 楽譜（ワルツ集）を提示 説明（ワルツ集の内容について） ↓ ③ 説明（ピアノを通して身に付けた力について） ↓ ④ 説明（理科（特に地学・天文学）に興味を持ったきっかけについて） ↓ ⑤ タブレットを提示（海外旅行の写真（グランドキャニオンなど）） ↓ ⑥ 説明（海外で印象に残った地形について） ↓ ⑦ 説明（高校での理科の授業で学びたいことについて） ↓ ⑧ 説明（自分の長所（計画力・実行力）、高校生活で生かしていきたいことについて）	好きな楽器（ベース）について ↓ ① 説明（ベースを始めたきっかけについて（ロックバンドの曲を聴いて）） ↓ ② ベース（2本）を提示 説明（2本のベースの特徴と違いについて） ↓ ③ ベースを演奏 ↓ ④ 説明（将来の夢（ミュージシャン）について）
自己表現の流れ	・プラモデル ・スケッチブック	・本（小説）	・空手初段免状	・楽譜（ショパンワルツ集） ・タブレット	・エレクトリックベースギター（2本）
持ち込み物					

（出典：広島県教育委員会HP「令和8年度広島県公立高等学校入学者選抜 自己表現試行事例（サンプル）」から一部抜粋
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/553308.pdf>）